

# 同推協だより

No.126

2021年 7月発行  
 神前地区同和教育推進協議会  
 Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp

2021年度の総会は、5月14日臨時役員会にて開催され、議事は全て承認されました。活動が制限される中ではありますが、これまで積み上げてきた『つながり』を大切に、今年度も『差別のない町・かんざき』をめざし、できることから取り組んでいきたいと思ひます。

## 同推協・川村一朗会長からのメッセージ

アメリカのバイデン大統領はこう発言しています。「アジア人に対する暴力で、何も知らない人たちは、暴力をしている人たちと同類であり、犯罪者である。」と。

国内では、あからさまな差別は少なくなっているとはいえ、まだまだ根強く残っています。日本では犯罪と認定されにくいですが、人権は日本国憲法で保障されています。

神前地区の皆さんも差別に対する言動があったら、「見て見ぬふり」することなく、差別は犯罪に値することであることをよく考えて、とことん話し合っって問題を解決して頂きたいと思ひます。

## 2021年度 役員紹介

役職名	名前
会長	川村 一朗
副会長	武藤 清
副会長	増田 孝幸
書記	近藤 静夫
会計	林崎 恵美子
企画部長	坂倉 乾三
研修啓発部長	山口 香澄
広報部長	川北 敏
総務部長	近藤 静夫

6月開催予定をしていました「人権フェスタかんざき」は、本年度も新型コロナ感染予防のため「中止」となりました。この機会に、ちょっとフェスタについて振り返ってみたいと思ひます。

初めて「人権フェスタかんざき」が開催されたのは2001年、国による時限立法が終了し、一部で「部落問題はもう終わった」との声が聞こえ出した時でした。

今こそ地域全体で人権について考えることが必要！！  
部落差別をはじめ、あらゆる差別を許さない雰囲気を神前地区につくろう！と全住民を対象にした「人権フェスタかんざき」を連合自治会・社協と共に立ち上げました。

めざすは、誰もが安心して暮らせる「住みよい・住みたい・人権のまち・かんざき」  
 講演会やコンサート、一人芝居に人権落語、そして住民による人権劇も行いました。一人でも多くの方が、自分の生き方を振り返り、共に差別をなくす仲間になってもらえるよう、これからも「人権フェスタかんざき」を充実させていきます。来年こそ是非ご参加を！

## 神前小学校の人権学習より

2020年度の神前小学校4年生（現5年生）が人権集会で発表した内容です。本来であれば2月に行われる『同推協のつどい』でも発表して頂く予定でしたが、コロナの影響で叶いませんでした。このお便りにて一部紹介させていただきます。

私…人前でしゃべることが苦手でみんなに迷惑になつてる気がする。

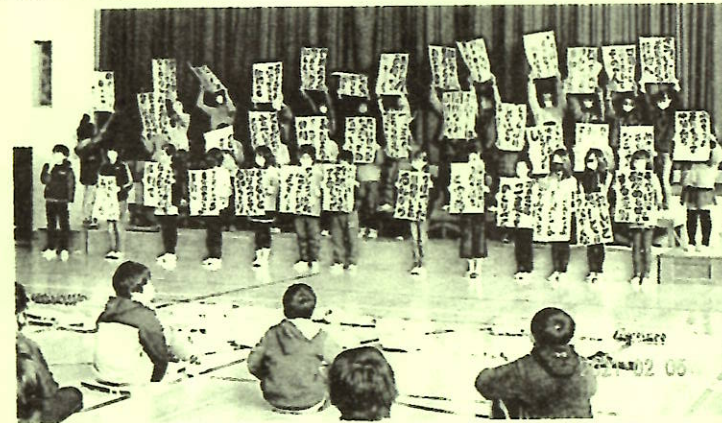
人それぞれやん。迷惑になんてなってないよ。

迷惑になつてるって思わせてるのは、自分たちクラスの雰囲気やつたんちゃう？

オレ みんなから嫌われると思っう！

なんで自分の事嫌われてるって思っうんやろ？

「いつも悪口ばかり言う子」とか…決めつけた見方をしていたな…



「迷惑」と思わせていたのも、「決めつけ」で見えていたのも自分たちだと気づきました。

差別されたり、嫌われないでもいい子なんて一人もいない！

これら子ども達を感じている「決めつけ」は知らない間に、私達大人が子ども達に刷り込んできた結果のように思いませんか？  
 子ども達と一緒に、私達大人も改めて自分自身を見つめ直し、『差別のないまち・神前』をめざして取り組みを進めていきましょう！

同推協啓発委員  
 募集中！

啓発委員になって頂ける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して頂き投函して下さい。申込用紙は置いてあります。

【問合せ先】地区市民センター内 団体事務局 ☎327-1501（午後受付）